

Column

研究と子育てと

内田 克哉
情報科学研究科
システム情報科学専攻
情報生物学分野 助教



かれこれ川内けやき保育園にお世話になってから8年という年月が過ぎ去ろうとしています。けやき保育園は未就学児童の保育施設ですので、8年とは我が家の長女がお世話になり、そして現在は次女がお世話になっていることを意味します。

私の仕事は、子供達に朝ごはんを作ってみんなでいただき、長女を小学校に送り出し、次女をけやき保育園に送り届けることから始まります。その後は研究室に到着して、メールチェックをして研究開始、といったところでしょうか。しかし、あっという間に夕方になり、6時過ぎには長女を迎えに児童館まで車を走らせ、けやき保育園で次女を拾い、みんなで食材を買い帰宅して夕ご飯。ここまでたどり着いて私の一日の仕事に句点が付けられるのです。なんともまあ母親みたいな父親をしているわけです。2010年に厚生労働省が中心となって「イクメンプロジェクト」立ち上げてからというもの「イクメン」という言葉が社会にずいぶん浸透したように思えますが、子育てや家事をする父親はまだそう多くはないはずです。私がこのように研究と子育てなどを両立できるのは、学内の託児施設に子供を預けられた(られている)こと、裁量労働制の職種であること、職場の理解があること、すなわち環境が整っている、という一言に尽きます。そのお蔭で妻も産後に離職することなく継続就業率の向上に寄与できています。たいへん有難いことです。

Activities

センター関係者による学内外での活動状況

(2016年9月～2017年1月)

- 米永 一郎(副センター長)
9月27日「Gender Parity in Science: Extended Defects in Semiconductors EDS 2016」にて「Gender equality in Tohoku University and Japan」講演
- 田中真美(副センター長)
10月6日
平成28年度第2回工学研究科等新規採用等教職員合同研修「東北大学および工学系における男女共同参画の取り組みについて」講演
- 10月21日
岩手大学 文部科学省 ダイバーシティ研究環境実現イニシアチブ(牽引型)女性研究者の研究リーダー力向上支援セミナー「産学連携による共同研究の推進～異分野融合による触覚センサの開発に関する研究～」講演

Report of the Seminar

「第2回 TUMUG Forum」(女性研究者研究発表・交流会)の開催



本学女性研究者の研究発信および異分野間の人的ネットワーク形成促進を目的として第2回TUMUG Forum(女性研究者研究発表・交流会)を開催しました。沢柳フェロー1名を含む計6名の女性教員が、異分野の研究者に対して自らの研究を分かりやすく説明しました。研究発表会後には、沢柳フェローランチミーティングとして研究交流会を実施し、参加者同士のネットワーク作りをしました。



セミナーの様子

【開催日】 2016年11月8日(火)
9:30～12:00
【会 場】 星陵会館大会議室・小会議室
【参加した沢柳フェロー(50音順、所属部局省略)】
大隅典子教授、倉永英里奈教授、永次史教授、藤田恭子教授、吉沢豊予子教授
【参加者】 37名

Award

平成28年秋の叙勲

瑞宝単光章 受賞:荒木 和子(元 病院看護部看護師長)

Information

センターの図書を開示します

男女共同参画推進センターでは、東北大学グローバルCOEプログラム「グローバル時代の男女協同参画と多文化共生」(2008-2013)および21世紀COEプログラム「男女共同参画時代の法と政策—ジェンダー法・政策・研究センター」(2003-2008)により購入した図書約8,000冊を所蔵しています。この度、平成28年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアチブ(特色型)「杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業」により図書の配架・購入等を行い、公開することとなりました。センターの図書は附属図書館の蔵書検索OPACから検索できます。ぜひご利用ください。

2月以降のイベント案内

◎第4回TUMUG Café
2月16日(木) 12:00～13:30

大学構成員が男女を問わず
子育てに関する情報や意見を
気楽に共有できる場です。



過去のイベントの様子



2017
VOL. 8

「TUMUG」とは「Tohoku University(東北大学)」「Movement(運動、活動)」「United(団結、協力)」「Gender(ジェンダー、男女)」からなる頭字語(アクリロニム)。東北大学が「紡ぐ」男女共同参画の取組が、ムーブメントとして広がっていくことを目指しています。

T O P I C S



キックオフシンポジウムでの東村博子氏の講演の様子

- 01 ▶ 杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業の進捗状況
- 02 ▶ 支援事業募集のお知らせ
▶ 利用者の声
- 03 ▶ 男女共同参画シンポジウム開催報告
▶ 学内での動き
▶ 平成28年度 東北大学サイエンス・エンジェル(SA)活動報告
- 04 ▶ コラム:内田 克哉助教

杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業の進捗状況



キックオフシンポジウム・第1回管理職セミナー開催報告

12月19日(月)、知の館3階Lecture Theaterにて「杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業」採択を記念した「キックオフシンポジウム・第1回管理職セミナー」を開催しました。当日は、基調講演として名古屋大学副理事(男女共同参画担当)の東村博子氏および日本アイ・ビー・エム株式会社人事ダイバーシティ企画担当部長の梅田恵氏のご講演されました。「杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業」について大隅典子教授が説明しました。

シンポジウムには部局長および事務(部)長約80名が参加し、熱心に耳を傾けました。



来賓挨拶
文部科学省
科学技術・学術政策局
人材政策課
人材政策推進室
室長 唐沢 裕之氏



女性研究者のポスターを見る里見総長

エンパワーメントタスクフォース会議

総長の下に部局の代表等13名から構成される「女性研究者エンパワーメントタスクフォース(ETF)」「(座長:大隅典子総長特別補佐(男女共同参画担当))」を組織し、ダイバーシティ研究環境整備に向けた取組を行っています。すでに10月31日、12月12日、1月17日に3回会議を開催し支援策を検討しています。



リーフレットを作成しました

東北大学における男女共同参画の現状やエンパワーメント推進事業を紹介したリーフレットを作成し、教職員に配布しました。

女性研究者に特化したURAが着任しました

女性研究者の研究力強化を目的として、研究費獲得支援や共同研究のための情報収集・連絡調整を行うURAとして藤村維子特任講師が着任しました。



東北大学男女共同参画推進センター
Tohoku University Center for Gender Equality Promotion
TEL 022-217-6092
〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1
E-mail tumug@morihime.tohoku.ac.jp
HP www.morihime.tohoku.ac.jp



TUMUG Program

平成29年度 TUMUG支援事業および 杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業募集のお知らせ

平成29年度「TUMUG支援事業(男女共同参画・女性研究者支援事業)」および「杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業」の募集がはじまりました。公募要領をご確認の上、是非ご応募ください。

両立支援 ～男性も対象～

TUMUG支援事業

研究支援要員

内容 A型:研究支援要員雇用のために必要な人件費の補助(上限100万円)
B型:大学から事務補佐員を派遣(週1～2日)

対象者 出産・育児・介護を行う教員・技術職員

本部締切 2月15日

ベビーシッター利用料等補助

内容 研究、講義、出張時のベビーシッター利用料等の補助(子ども1人あたり上限5万円/半期)

対象者 育児を行う教員、技術職員、ポスドク、博士学生等

本部締切 第1回 2月15日
第2回 9月上旬

女性リーダー育成

TUMUG支援事業

リーダー研究支援要員

内容 大学から事務補佐員を派遣(週1～2日)

対象者 国の審議会委員等の要職に就く女性教員

本部締切 2月15日

スタートアップ研究費

内容 1年目100万円、2年目50万円の研究費を支援

対象者 新規採用の女性教員(助教以上)

本部締切 7月10日

研究スキルアップ経費

内容 会議・シンポジウム等の旅費支援(海外:上限30万円、国内:上限15万円)

対象者 女性教員(准教授、講師、助教)

本部締切 第1回 4月10日
第2回 10月上旬

次世代育成

TUMUG支援事業

東北大学サイエンス・エンジェル

内容 高校等での出張セミナー、オープンキャンパス、科学イベント企画・実施

対象者 自然科学系部局に所属する大学院女子学生

本部締切 第1回 3月22日
第2回 5月2日



仙台Iゾンタクラブ 東北大学大学院女子学生海外渡航支援

内容 海外で開催される会議・シンポジウム等の旅費支援(上限15万円)

対象者 大学院女子学生

本部締切 6月頃

※詳細は5月に通知予定

杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業

ダイバーシティ研究環境実現のための部局等による取組支援プログラム

内容 環境整備および意識の醸成を目的として開催するセミナー等の取組を補助(上限15万円)

本部締切 6月16日

Event Information

第13回 男女共同参画シンポジウム 「男性性を問う」開催報告



三枝 麻由美氏
(名古屋大学男女共同参画室 准教授)



田中 俊之氏
(武蔵大学社会学部 助教)

1月29日に星陵キャンパス星陵オーデトリウムにて第13回東北大学男女共同参画シンポジウム「男性性を問う」が開催されました(主催:男女共同参画委員会)。第I部では宗近美佐子氏(内閣府男女共同参画局推進課課長補佐)から来賓のご挨拶をいただいた後、第3回澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画賞の授賞式および受賞講演を行いました。(受賞者:名古屋大学男女共同参画室)。

第II部は、田中俊之氏(武蔵大学社会学部 助教)、多賀太氏(関西大学文学部 教授)、梅田恵氏(日本アイ・ピー・エム株式会社 人事ダイバーシティ企画担当部長)による講演およびパネルディスカッション「男性標準」社会を問い直す」が行われました。

里見進総長ならびに植木俊哉理事(センター長)、男女共同参画委員会委員、学内外の皆様、約160名にご参加いただき、大変盛況うちに終了しました。



多賀 太氏
(関西大学文学部 教授)



梅田 恵氏
(日本アイ・ピー・エム株式会社 人事ダイバーシティ企画担当部長)

[学内での動き]

「ダイバーシティ研究環境実現のための部局等による取組支援プログラム」では部局によるダイバーシティ研究環境整備および男女参画に関する意識の醸成を目的とするFDや講演会等の実施を支援しています。平成28年度は3択されました。

男女共同参画推進に関するセミナーの開催

金属材料研究所

「女性研究者に 応援の気持ちを込めて」

日時: 平成29年2月1日(水) 12:00～14:30
場所: 金属材料研究所(2号館講堂)
講師: 中野 裕美氏(豊橋科学技術大学)

電気通信研究所

ナノ・バイオおよび ナノ・有機融合分野で活躍する女性達

日時: 平成29年2月3日(金) 14:00～17:10
場所: 電気通信研究所(ナノ・スピン実験施設)
講師: 高井 まどか氏(東京大学)
大嶋 梓氏(NTT物性科学基礎研究所)
松永 行子氏(東京大学)
細川 千絵氏(産業技術総合研究所)

多元物質科学研究所

女性科学者が語る 研究・人生の楽しみ方

日時: 平成29年2月20日(月) 14:00～17:00
場所: 多元物質科学研究所(南総合研究棟II大会議室)
講師: 永澤 秀子氏(岐阜薬科大学薬学部)
程 久美子氏(東京大学大学院理学系研究科)

杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業

研究支援要員

内容 C型:大学院生をRA・AAとして雇用するために必要な人件費の補助(上限40万円)

対象者 出産・育児・介護を行う女性の教員・技術職員

本部締切 2月15日

杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業

「科学研究費助成事業」フォローアップ

内容 科研費に採択されなかった人の研究課題を支援

対象者 女性教員(准教授、講師、助教)

本部締切 5月15日

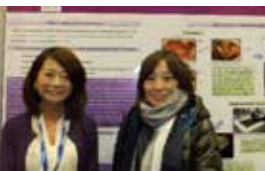
国際学術論文作成のための英文校閲費用補助

内容 英文校閲費用を補助(上限5万円)

対象者 女性教員(准教授、講師、助教)

本部締切 第1回3月22日(年4回募集予定)

[利用者の声]

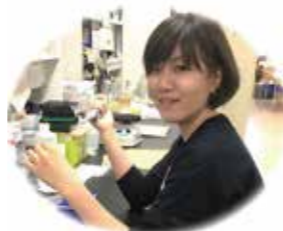


他大学の研究者と米国の学会で(病院所属)

●各種公的委員会等の構成において男女比を考慮した選出が行われる機会が増えている影響も加味され、学内外において委嘱される役割、シンポジウム演者などが多様化しており、資料の管理、スケジュール管理が困難になってきていたところを支援していただくことができました。(研究支援要員(B型)を利用)

●子どもが小さくまだ母親でしか寝かしつけができない状態であるが、本制度を利用することにより、子どもを出張先まで連れて行けるようになり、日帰りでは行けない場所で開催される学会に参加できた。(ベビーシッター利用料等補助を利用)

●本研究スキルアップ経費の支援を受け、国際的な成果発表のみならず、専門の研究を学術的にリードする学会に参加できた。また国際共同研究についての具体的な方向性が定まったことは大変有意義であった。このように世界の学術的動向を把握するだけでなく、研究者としての目標やモチベーションの再確認をし、研究スキルアップや将来のリーダーシップを育む機会を与えられたことは、大変感謝すべきことであった。(研究スキルアップ経費を利用)



「実験中の女性研究者」
(加齢医学研究所所属)

平成28年度 東北大学サイエンス・エンジェル(SA)の活動



日経カレッジカフェ 「発信! 理系女子」連載開始

日本経済新聞社が運営する大学生のためのキャリア支援メディアである日経カレッジカフェ(<http://college.nikkei.co.jp/>)にて、SA有志による連載が開始されました。SA活動や進路選択、現在の研究等を紹介しています。是非ご覧ください。

自然科学系女子大学院生が次世代のロールモデルとして、小中学生やその保護者・教師、特に理系進学に興味を持つ女子中高生を対象に科学の魅力と研究のおもしろさを伝える活動をしています。



●SA活動実績(11月以降)

11月6日	サイエンスアゴラ2016	12月10日	八本松市民センター 「親子で体験 学ぼう!遊ぼう!元気UP!」
11月9日	出張セミナー 仙台市立郡山中学校	3月12日	秋田サイエンスカンファレンス(予定)
11月17日	出張セミナー 宮城県宮城第一高等学校		

研究職に興味がある
学生・高校生の皆さんの
参加をお待ちしています

イベント情報

研究職の魅力伝える

日時: 平成29年2月24日(金)
13:30～16:00
場所: 生命科学研究所プロジェクト
総合研究棟会議室A

研究者ってなに? 留学・海外滞在編

日時: 平成29年3月25日(土)
13:30～15:30
場所: TKPガーデンシティ仙台
アール13F会議室

